

研究計画概要

助成年度・種別	2019年度 若手研究助成
研究者	讃井 知
所 属	筑波大学大学院
研究テーマ	高齢者の犯罪被害防止にむけた自助・共助を促進する情報の活用方策
研究計画概要	<p>我が国では防犯に関する市民活動が活発に行われ、防犯における市民の役割に対する期待が高い。しかし、活動団体の結成が進んだ初期と現在では社会情勢に変化があり、それに伴い活動の目的や内容を再考する必要がある。</p> <p>また、こうした活動の促進にむけて多数の情報提供が行われているが、それらが人々のどのような理解や行動を促すかについての実証的な研究は十分ではないことが指摘されている。防犯以外の分野では、規制や援助策等の直接的介入ではなく、人間の心理的な特性を利用した情報提供により、望ましい行動変容を促す方法論が様々な検討されており、今後防犯分野においてもその応用が期待されている。</p> <p>そこで本研究は、現状に応じた防犯活動のあり方と、人間の心理特性を考慮した効果的な情報提供の検討・効果の検証を目的とする。そのために、</p> <p>①超高齢社会である我が国の現状をふまえ、高齢者を対象とした調査を行い高齢者特有の犯罪に対するリスク認知、不安感、被害防止に必要な対処行動等を明らかにする。②市民による活動参加意図に影響を与える心理要因を明らかにする。③調査①・②を基に広報資料を実際に作成・提示し、その効果を被験者実験により検証する。</p>
選考委員からのコメント	<p>本研究は、高齢者を対象として犯罪被害を防ぐために「どのような支援・介入が必要か」を明らかにするものである。また、市民を対象に防犯活動の参加意識を促進する心理的要因を調査し、どのような情報提供が必要であるかを明確にするものである。更に、得られた研究結果に基づいて広報資料を作成し、その効果を明らかにしようとするものである。本研究は、社会安全に貢献するものと思われ、研究成果に期待が持てる。</p>